

小学生プログラミング

駅場さん(瑞穂)全国大会へ

プログラミング作品を紹介する駅場乙葉さん
〓松江市殿町、山陰中央新報社



町立瑞穂小学校5年の駅場乙葉さん(11)が県代表に選ばれた。

全国大会は「もっと好き

になる わたしたちのまち」をテーマに共同通信社と加盟新聞社でつくる全国新聞社事業協議会が主催。県情報産業協会の吉岡宏会長はじめ3人が審査した。

駅場さんは「おぼけとおんなのこのものがたり」と

題し、自らが暮らす邑南町を舞台にしたアニメーションを制作した。鳥の衣装を身に着けた駅場さんは、多くの人に読んでもらえるように字幕を全てひらがな表記にするといった工夫点を発表した。街に住むおぼけが里山の女の子と仲良くなりながら、自然の魅力を感じていく物語の構成が評価された。

駅場さんは全国大会に向けて「島根の自然の魅力を広めたい」と意気込んだ。全国大会は来年3月に東京都内で開催される。

(曾田元気)

紙面編集・川上ゆかり

独自の発想に基づいてプログラミングで制作した作品を

競う「全国選抜小学生プログラミング大会」の島根県

代表選出審査会が20日、松江市殿町の山陰中央新報社であり、里山の魅力をストーリー仕立てで伝えた邑南